

## 横浜消防出初式 2022 実施に係る共同事業説明資料

本説明資料に記載した内容には、現在検討中のものも含まれるため、本プロポーザルのみの設定条件とし、将来の業務実施の条件となるものではありません。

## 1 業務名

横浜消防出初式 2022 実施に係る共同事業

## 2 業務目的

市民の皆様へ安全・安心を実感していただける横浜消防出初式を開催するため、運営経費を確保し、来場者数に限らず市民の皆様が、学び、楽しめるイベントを共同で実施します。

## 3 応募資格

(1) 横浜市一般競争入札有資格者名簿（物品・委託等関係）において、次のアからウに記載する営業種目及び細目の全てにおいて登録が認められている者であること。

ただし、横浜市一般競争入札有資格者名簿に登録されていない場合でも、参加意向申出書を提出した時点で、下記種目において現に申込み中であり、共同事業先候補者を特定する期日までに登録が完了することを条件として企画を提案することは可能とします。

ア 営業種目「319 イベント企画運営等」が登録希望順位 3 位以内、細目 A「イベント企画」及び細目 B「イベント運営等」

イ 営業種目「322 映画・ビデオ制作」、細目 A「映画・ビデオ制作」及び細目 B「録音」

ウ 営業種目「323 広告」、細目 A「テレビ、ラジオ」及び細目 C「ウェブ」

(2) 「所在地区分」が市内として名簿に登録が認められている者であること。

(3) 当該業務若しくはこれと同規模の業務実績を有する者であること。

## 4 出初式概要（予定）

(1) 事業規模

来場者数：30,000 人程度

※ 入場制限を行わず、一般的な感染防止対策は必要な状況

(2) 名称

「横浜消防出初式 2022」～学び 楽しめる 安全安心フェスティバル～

(3) 日時

令和 4 年(2022年) 1 月 9 日（日）午前10時30分から午後 3 時までの間の90分間程度

(4) 場所

横浜赤レンガ倉庫イベント広場、1 号館、赤レンガパーク、新港 2 号線 5 号岸壁

(5) 実施主体

ア 主催：横浜市消防局・共同事業者

イ 共催：横浜市消防団

ウ 協力：防災関係機関

エ 後援：経済団体及びメディア関係企業

## 5 必要経費

- (1) 本市が当該事業を実施するに際して発生する、会場費（設営費含む）、安全管理費、横浜古式消防保存会協力費、保険加入料及び広報費（印刷費含む）に係る必要経費として負担できるのは、350万円（税込）を上限とします。
- (2) 実施経費のうち、市が負担する金額を超える経費については、共同事業者が主となって確保することとします。
- (3) 共同事業者が業務を実施する上で必要な人件費、企画費及び営業経費等の事務局経費は、市からの負担金を除いた額の30%程度を目安としてください。

## 6 共同事業者との協定の締結

選定された共同事業者と横浜市は、運営事業体を設置して役割分担を協議し、協定を締結します。

## 7 協定の締結期間

協定締結日から令和4年(2022年)3月31日まで

## 8 役割分担（予定）

### (1) 共同で実施する事項

- ア 実施計画・内容に関すること
- イ 準備及び当日の運営に関すること
- ウ 集客に必要な広報に関すること
- エ 開催に伴う写真等の記録に関すること
- オ その他開催に必要な事項で共同で実施することが望ましい内容に関すること

### (2) 共同事業者が主となって行う事項

- ア 必要な経費の確保に関すること
- イ 運営資金の管理に関すること
- ウ 会場設営における業者との調整に関すること
- エ 必要物品の調達に関すること
- オ その他開催に必要な事項で共同事業者が主となって行うべき内容に関すること

### (3) 横浜市消防局が主となって行う事項

- ア 上記（1）アのうち、横浜市消防局が直接行うべき内容（消防訓練等）に関すること
- イ 実施会場の確保に関すること
- ウ 実施に必要な公的機関等との調整に関すること
- エ その他開催に必要な事項で横浜市消防局が主となって行うべき内容に関すること

※詳細な役割及びその他については別途協議することとします。

## 9 提案書に必要な提案内容

業務目的を達成するための実施プランとし、次の項目について提案してください。

- (1) 業務実施体制
- (2) 業務実施方針
- (3) 実施計画（スケジュール）
- (4) 実施内容

下記の内容を組み込み、「2 業務目的」に合致する内容で提案してください。

内 容
オープニングセレモニー
古式消防演技
消防音楽隊ドリル演技
消防総合訓練
一斉放水

- (5) 業務実施手法

- ア 会場設営
- イ 来場者の安全（感染防止対策含む）に配慮した観覧方法
- ウ 運営資金の調達方法
- エ 運営資金の管理方法
- オ 収支予算
- カ 事務局経費の考え方
- キ 広報・宣伝計画

- (6) トラブルへの対応策

- (7) 類似業務の実績

（過去3年間に実施したイベントの規模、協賛金等（物品協賛含む）の集めた金額の実績）

- (8) 市内経済の発展・振興策
- (9) 提案書に対する参考見積書
- (10) 企業としての取組
- (11) その他当該業務に必要な事項